

(仮称) 厚田小中学校設立準備委員会 第5回会議【質疑要旨】

- ・日時 平成29年 2月23日(木) 18:30~20:05
- ・会場 厚田保健センター 1階多目的ホール
- ・出席者 委員14名
 - ・保護者： 小笠原英史(厚田小PTA会長)、富樫大幸(望来小PTA会長)、早坂伊佐雄(厚田中PTA副会長)、阿部 保(聚富小中PTA会長)、本郷亜希子(厚田保育園父母の会会長)
 - ・学校関係者： 昇 洋一(厚田小教頭)、田中 亮(望来小教頭)、三浦崇史(厚田中校長)、風間敏明(聚富小中校長)
 - ・学校支援推進員： 渡邊教円(厚田小)、渡部賢二(望来小)、小林晴美(厚田中)
 - ・厚田区地域協議会： 佐藤勝彦(同会長)
 - ・学識経験者： 前田賢次(北海道教育大学札幌校准教授・教育方法学)

 - ・運営協力者(3名)： 松原謙二(厚田中教頭)、高橋公平(厚田小教諭)、加藤亞弓(望来小教諭)

事務局〔市教委〕

佐々木生涯学習部長、松井教育指導担当次長、安崎総務企画課長、菅原学校教育課長、松永総務企画課主幹、西山厚田生涯学習課主査、石黒学校教育主事

その他〔厚田支所〕

相原地域振興課主幹

※傍聴者2名

【開会あいさつ(佐藤委員長)】

【(仮称)厚田小中学校整備基本計画 原案②(修正協議)について】

- ・配布資料に基づき説明(松永主幹)
- ・前回案(原案①)からの変更箇所及び第6章、第7章を詳細に説明

【質疑】

学級編成、カリキュラム、教室数について

(A委員)

- ・複式学級の編成になることを前提に考えているのか。単式の編成になることというものはあるのか。教室を9クラス分設けることを考えているのか。

- 今の推計では、小学校（前期課程）の部分は複式を想定しなくてはならない状況となっており、中学校（後期課程）の部分は単式編成を見込んでいる。小学校で単式編成となる場合は、多目的教室などを充てることで対応する。
- 資料93ページに現段階での児童生徒数、学級数の推計を載せており、これに基づいて学年の区割りの検討をしなくてはならないと考えている。

(A委員)

- ・小学校と中学校で、授業時間や年間の時間数などが違うと思うが、どう対応するのか。

- 標準は、小学校は一般的に45分、中学校は50分となっている。日課表は学校独自で決めることができるので、今後具体的に検討していきたい。

(B委員)

- ・先ほど学年の区切りを説明していただいたが、卒業式が9ヵ年で1回しかないのはどうかと思う。ミニ卒業式のようなものはできないのか。

- すでに開校した義務教育学校では、「2分の1成人式」や「立志式」といった節目の式を設けている事例がある。今後、教育課程部会で検討していきたい。

(C委員)

- ・複式の学年で、教科担任制の授業を行う場合、教室は足りるのか。

- 必要な教室数は確保できることを考えており、94ページの「1 普通教室」の9つ目の項目で「別記する特別活動室と相談室に黒板等を設け、小学校高学年で教科担任制を実施する場合の単式指導に対応できるように配慮する。」として記載している。

(D委員)

- ・厚田は横綱吉葉山の出身地なので、ふるさと学習の中で盛り込むなど配慮していただきたい。
- ・格技の教育課程に、聚富中で取り組んで相撲についても取り入れることを考えていただきたい。

保育園の遊び場、学校グラウンドの整備など

(B委員)

- ・保育所の遊び場について、学校のグラウンドと一緒にするのではなく、小さくてもいいので遊べる場所を独自に作ってほしい。

→ 安全面を第一に配慮したなかで、引き続き検討していきたい。

→ (A委員)

- ・子ども達の安全を考えると、保育園の園庭は必要だと思う。

→ 園庭という形になるかどうかは今後検討するが、園児の安全確保はしっかり行う。

→ (E委員)

- ・保育所と低学年では同じような活動を行う場面がある。形は併設でも、縦割りで一緒に活動できる方法を考えてほしいと思う。

(F委員)

- ・グラウンドについて、現在の中学校のグラウンドで対応するのか。

→ 現状のグラウンドが基本になる。ネットなどは必要に応じて設置していく。98ページの「26 職員玄関・開放玄関」のところで、「フェンスや防球ネットなどをグラウンド及び校舎敷地の適切な箇所に配置し、安全面に配慮する。」として記載している。

→ (G委員)

- ・外周フェンスはすでにかなり老朽化している。プール整備ともあわせ、早めに対応していただきたい。芝についても整備が必要だと思う。

→ (F委員)

- ・グラウンドの拡張は難しいということだが、部活動と少年団の併用は難しいと思うので、現状の厚田小学校のグラウンドをサブグラウンドで使えるよう考えていただきたい。

→ 開校時に、部活動と少年団がどのような活動になるかも踏まえて、今後検討をさせていただきたい。

(A委員)

- ・厚田中学校のグラウンドにブランコなどはあるのか。

→ 小学校とは違うので、現状では遊具はない。そのような機能を現在の中学校に移設設置しなければならぬと考えている。

図書館（室）について

(E委員)

- ・図書室は、クローズな部屋（仕切られた部屋）となるのか。それとも、ホールなど開放されたスペースの一部に配置することを考えているのか。

→ 地域開放型の図書館として、学校活動で使うほか、一般・地域の方も入ってくることとなるが、クローズな部屋として考えている。

→ (E委員)

- ・生涯学習の視点で考えると、地域にとっても図書館の役割は大きい。厚田小の現図書室は温かい雰囲気の中で中身も充実して運営されているので、新しい図書室をどう作るかを大切にしていきたい。

→ (C委員)

- ・その通り、図書館の役割は非常に重要である。アクティブ・ラーニングを考えると一層重要性が増してくると思う。

→ 参考になる事例があればぜひ教えていただきたい。

教員の人材確保、教育課程部会について

(D委員)

- ・義務教育学校の小中一貫の教育には、いろいろと困難な課題があるので、教員の人材確保についても十分な配慮をお願いしたい。

→ そのことは十分に考慮して進めていく。

(G委員)

- ・新年度から設置される教育課程部会の委員構成は、学校と相談して決めるようにしていただきたい

い。

(H委員)

- ・今後の教育課程部会での検討経過について、これまでと同様に文書で記録報告をしていただきたい。

その他

(H委員)

- ・グラウンドに関する意見が出ていたが、今後、閉校する学校の体育館やグラウンドも含めた跡地利用について、平成32年までの間でどのように決められていくのか、その情報提供なども含め留意していただきたい。

(I委員)

- ・建設工事と、厚田中の厚田小への移転のスケジュールに関連して、厚田中の平成31年と32年の3月の卒業式について、小学校ではなく中学校の体育館で行いたいという子ども達の希望があるので、体育館の改修時期について配慮をお願いできないか。

→ いただいた要望について、今後検討する。

【 佐藤委員長から各委員に対し、原案②について諮る。 → 全委員から了承をいただく。】

【 佐々木生涯学習部長より、挨拶謝辞】

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成29年4月12日

(仮称) 厚田小中学校設立準備委員会

委員長 佐藤勝彦